

# 東北地方 1 か月予報

( 2 月 7 日から 3 月 6 日までの天候見通し )

平成 2 1 年 2 月 6 日  
仙台管区气象台発表

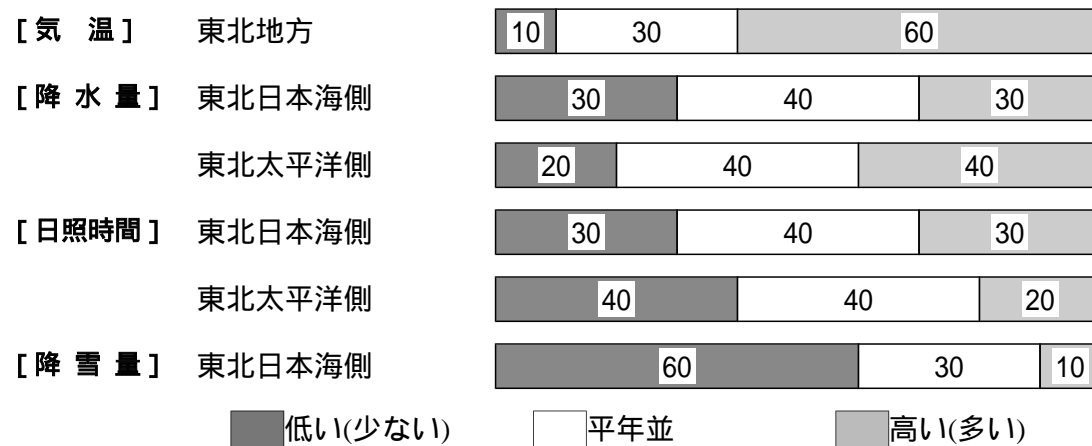
## < 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。  
東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が  
少ない見込みです。

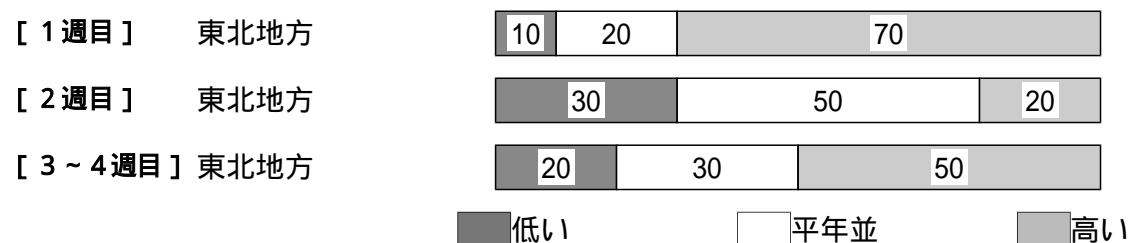
向こう 1 か月の平均気温は高い確率が 6 0 % です。降水量は東北太平洋側で平年並または多い確率がと  
もに 4 0 % です。日照時間は東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに 4 0 % です。東北日本海側  
の降雪量は少ない確率が 6 0 % です。

週別の気温は、1 週目は高い確率が 7 0 %、2 週目は平年並の確率が 5 0 %、3 ~ 4 週目は高い確率が  
5 0 % です。

## < 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率 ( % ) >



## < 気温経過の各階級の確率 ( % ) >



## < 予報の対象期間 >

1 か月      :    2 月   7 日 ( 土 ) ~    3 月   6 日 ( 金 )  
1 週目      :    2 月   7 日 ( 土 ) ~    2 月 1 3 日 ( 金 )  
2 週目      :    2 月 1 4 日 ( 土 ) ~    2 月 2 0 日 ( 金 )  
3 ~ 4 週目 :    2 月 2 1 日 ( 土 ) ~    3 月   6 日 ( 金 )

**< 次回発表予定等 >**

1 か月予報：毎週金曜日 14時30分 次回は2月13日

3 か月予報：2月25日（水） 14時

暖候期予報：2月25日（水） 14時

## < 参考資料（ 平年並の範囲等 ） >

（ １ ） 30 年平均値（ 向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温 ）

	気 温 ( )	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温( )		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	-0.7	101.6	82.4	178	-1.5	-1.0	0.0
深浦	0.2	74.3	57.4	102	-0.6	-0.2	0.7
むつ	-1.1	81.5	100.5	157	-1.9	-1.5	-0.5
八戸	-0.4	49.3	135.8	96	-1.3	-0.8	0.2
秋田	0.6	90.1	74.4	106	-0.1	0.2	1.2
盛岡	-1.0	56.2	132.9	88	-2.0	-1.4	-0.4
大船渡	1.3	56.9	142.3	28	0.6	1.0	1.7
宮古	0.6	75.8	152.7	66	0.0	0.4	1.1
仙台	2.2	48.6	152.9	28	1.5	1.9	2.7
石巻	1.4	43.7	163.5	21	0.6	1.1	1.9
山形	0.3	64.7	106.5	131	-0.5	-0.1	0.8
新庄	-0.5	130.4	65.1	214	-1.2	-0.9	0.0
酒田	1.9	105.8	69.6	103	1.2	1.5	2.3
福島	2.3	50.5	148.0	59	1.5	2.0	2.8
若松	0.1	63.8	102.6	140	-0.7	-0.2	0.7
白河	0.9	43.3	155.3	46	0.2	0.7	1.4
小名浜	4.1	61.9	171.9	0	3.4	3.8	4.5

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（ ２ ） 1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（ 比 ）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差( )	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	79 ～ 112	97 ～ 104	76 ～ 118
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	93 ～ 108	92 ～ 106	89 ～ 118
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	63 ～ 121	98 ～ 104	67 ～ 120

（ ３ ） この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6
東北日本海側	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +0.9	-0.7 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6

## < 参考資料（ 利用上の注意 ） >

（ １ ） 気温（ 降水量 ）等は、「低い（ 少ない ）」「平年並」「高い（ 多い ）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（ それぞれ 3 3 % ）となるように決めてあります（ 気候的出現率と呼びます ）。

（ ２ ） 予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 1 0 % 以下や 6 0 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（ 3 0 % 、 4 0 % ）の確率しか付けられません。

（ ３ ） 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（ 少ない ）場合は「平年に比べて多い（ 少ない ）」、また平年の日数と同程度に多い（ 少ない ）場合には「平年と同様に多い（ 少ない ）」と表現します。なお、単に多い（ 少ない ）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（ 少ない ）ことを意味します。

# 東北地方 1 か月予報解説資料

平成 21 年 2 月 6 日 仙台管区気象台

## 1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 7 日～3 月 6 日) :

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

平均気温は高い確率が 60% です。

1 週目 (2 月 7 日～2 月 13 日) :

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で曇りで雪または雨の日が多いですが期間の終わりは晴れる日があるでしょう。東北太平洋側では沿岸部を中心に晴れる日が多いですが、期間の中頃と終わりは気圧の谷の影響で曇りで雪または雨の降るところがある見込みです。

平均気温は高い確率が 70% です。

2 週目 (2 月 14 日～2 月 20 日) :

冬型の気圧配置となる日が多いですが、一時低気圧や気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側は平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

平均気温は平年並の確率が 50% です。

3～4 週目 (2 月 21 日～3 月 6 日) :

冬型の気圧配置は長続きせず、時々低気圧や気圧の谷の影響を受けるでしょう。東北日本海側は平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は平年に比べて晴れの日が少ない見込みです。

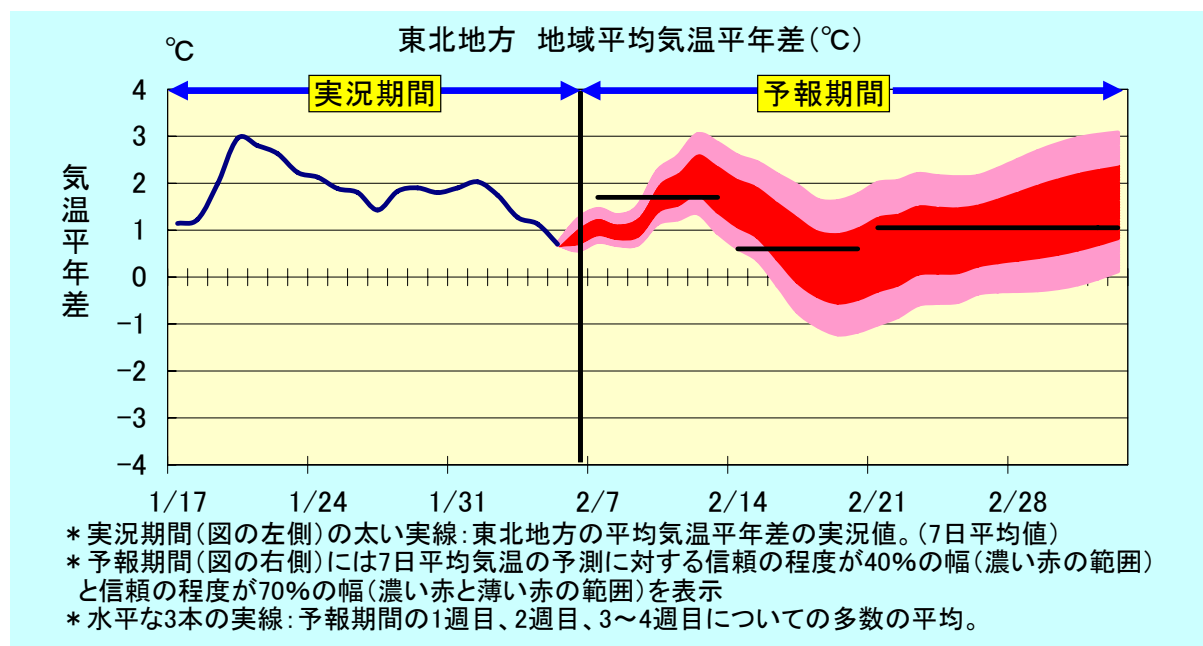
平均気温は高い確率が 50% です。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	7.4 日	1.4 日	1.7 日	4.3 日
東北太平洋側	17.9 日	4.7 日	4.3 日	8.9 日

## 2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目、3～4 週目はともに平年を上回り、2 週目は平年付近の予想となっている。

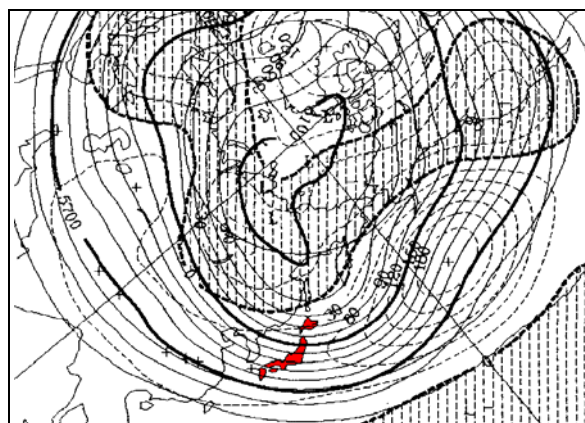


### 3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500hPa 予想天気図)

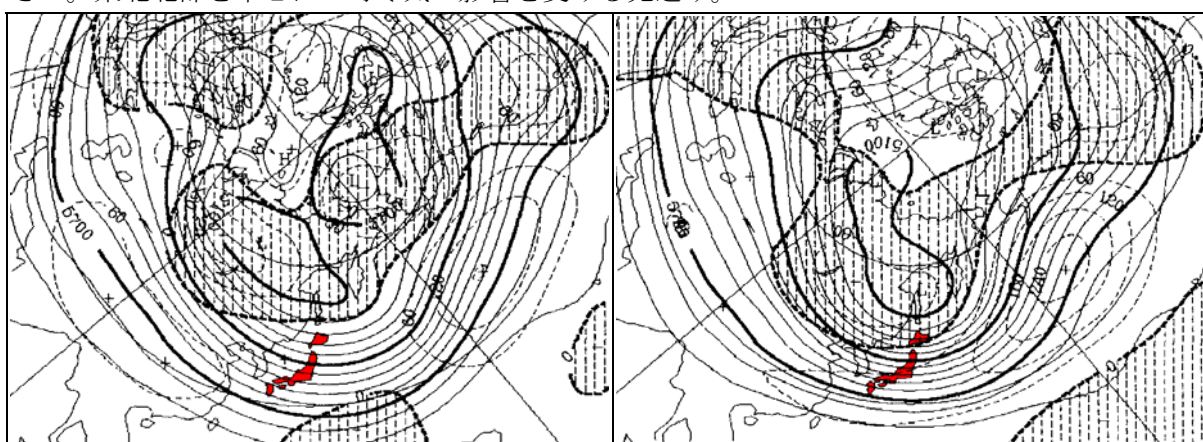
**1か月平均:** 極東域の高緯度は負偏差となるが、日本付近を含む中緯度は広く正偏差におおわれる。平年に比べ寒気の影響は小さく、冬型の気圧配置は長続きしない見込み。高温傾向が予想される。

**1週目:** 極東域の高緯度と日本の南東海上は負偏差となるが、日本付近を含む中緯度は正偏差におおわれる。平年に比べ寒気の影響は小さく、冬型の気圧配置は長続きしない見込み。高温傾向が予想される。

**2週目:** 東シベリアに中心をもつ負偏差が北海道にかかる。一方、北太平洋に中心を持つ正偏差が東日本以西をおおうが、東北地方の偏差は小さい。東北北部を中心に一時寒気の影響を受ける見込み。



1か月平均 500hPa 予想天気図  
(図の見方は1, 2週目と同じ  
ただし平年差の間隔は30m毎)



1週目平均 500hPa 予想天気図

2週目平均 500hPa 予想天気図

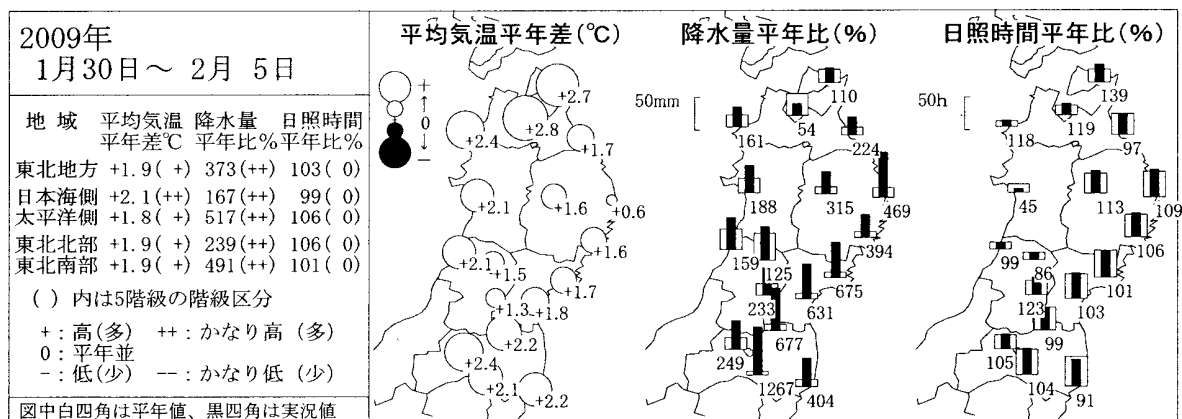
実線は、等高線 (間隔 60m)、点線は、平年差 (間隔 60m)

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

### 4. 最近1週間 (1月30日～2月5日) の天候の経過

30日から31日にかけては本州南岸を東進した低気圧が三陸沖を北上した影響で雨となり、31日には次第に雪に変わった。山沿いや東北太平洋側を中心に大雪となったところもあり、岩手県や宮城県で交通障害などが発生した。低気圧の通過後は冬型の気圧配置となったが長続きせず、期間の後半は高気圧と低気圧が交互に通過した。東北地方への寒気の影響は小さく、気温は高くなった。

平均気温は東北日本海側でかなり高く、東北太平洋側で高い。降水量は東北地方でかなり多い。日照時間は東北地方で平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差 (比)